

能「名取ノ老女」名取公演に向けて
主演・梅若玄祥さんよりメッセージをいただきました。

Q. 10月1日に「名取ノ老女」を上演することになりました。
A. 現地の皆様はこの能を見てもらえるのは本当に有難く嬉しく思っています。この能は、題名のとおり名取を舞台にした作品で、古く室町時代からあったのですが、しばらく絶えていました。20年以上前に別の形で私がこの作品を復曲したことがありましたが、昨年国立能楽堂の「復興と文化」という企画で改めてこの作品に挑んでみようということとなりました。この作品のテーマは「祈り」と「希望」です。まだまだ復興の途上とかがっている現地の方々にとって、少しでも希望や活力を与えられるよう精一杯動めたいと思っています。

Q. 能を作るにあたって現地にいらしたそうですね。
A. 一昨年の秋に名取市の熊野三社、老女の墓そして閑上に向いました。大変立派なお社があって驚いたのを覚えています。そして、熊野那智神社のある高館山からの眺めは本当に美しかった。美しい自然と人々の営み、そして今も信仰が息づいていることを実感しました。そうした美しい土地に



梅若玄祥(うめわか げんしょう) Profile
能楽師、シテ方観世流。1948年生まれ。1979年に梅若六郎家当主を継承。1988年56世梅若六郎を襲名。2008年2世梅若玄祥を襲名。3才での初舞台以降、数々の古典作品を上演する一方、廃絶された能の復曲や新作能の上演にも積極的に携わり、今日に生きる古典芸能としての能を支えている。また、海外への能の紹介にも積極的に、アメリカやヨーロッパ各国での公演も多数。芸術祭優秀賞をはじめ、観世寿夫記念法政大学能楽賞、読売演劇大賞優秀賞、紫綬褒章など受賞多数。2007年日本芸術院会員、2014年重要無形文化財各個認定保持者(人間国宝)となる。



あの日地震と津波が襲ってきたのですね。閑上の日和山に登った時は、この作品を作る重い責任というものを感じました。それと、名取市の方々にとって老女は身近な存在でおそらくイメージのようなものがあるのだらうと思えます。そのイメージを壊さないような老女像を造型しなければならないですね。
Q. 見どころはどんなところでしょう。
A. 珍しいことに、この能では神の奇跡が二度描かれます。一つは椰の葉に虫食いの神の和歌が現れること、もう一つは熊野権現の使い護法善神が出現することです。その根底には老女の信仰心があるということなので、それをしっかりと表さなければならないと思っています。今回老女が孫娘を連れていることで、祈りが未来へと続くことを暗示しています。そんなことも老女あるいは私たちの信仰心の象徴みたいなものと見て頂くのもいいかもしれません。珍しいといえば老女が「神楽」という舞を舞うこともそうです。他の能の作品ではないことなのです。そして、宝生宗家演じる護法善神の颯爽とした姿も老女との対比で際立つ場面です。ここは演出を担当された大槻文蔵さんと相談してちょっと工夫をしたところ。老女の舞から神の出現へ、ドキドキするようなシーンとなりました。また、元々の作品にはなかったのですが、監修の小田幸子さんと小林健二さんとで老女が山伏に名取の地を案内する「名所教え」という場面を作ってもらいました。高館山や名取川、閑上浜といった名取の皆さんにはお馴染みの地名が折込まれています。美しい土地を描くことで作品に奥行きが出ましたので、お楽しみいただけることと思います。
この能と同時に野村万作さん萬籬さんによる狂言「名取川」も上演されますので、名取市ゆかりの二作品をきっかけに、今後も市民のみなさんが能・狂言に親しんでもらえると本当に嬉しいです。

平成29年度 開館20周年記念事業 公演スケジュール

仙台フィルハーモニー管弦楽団音楽事業提携プロジェクト
Art for Kids @なとりわくわくバビリオン
5月3日(水・祝)～4日(木・祝)
ゴールデンウィークの2日間は文化会館が
子どもの遊び場に変身!!
コンサートやワークショップ、様々な体験を用意しています。
入場無料

仙台フィルハーモニー管弦楽団音楽事業提携プロジェクト
Art for Kids @なとりわくわく楽しい音楽会
7月30日(日) 中ホール 14:00開演
出 演:三宅 進(チェロ)、吉岡知広(チェロ) 他
チケット:全席自由 一般500円
中学生以下無料(要整理券)
※未就学児入場不可

能・狂言鑑賞教室 ワークショップ
8月19日(土) 高館公民館
20日(日) 小ホール
プロの能楽師、狂言師による体験講座。
事前申込制

復曲能 名取ノ老女 狂言 名取川
10月1日(日) 大ホール 14:00開演予定
出 演:梅若玄祥、宝生和英、野村万作、野村萬斎 他
※未就学児入場不可

Natori Jazz Port Happy Toco Live
10月14日(土) 小ホール 18:30開演
出 演:Happy Toco
チケット:全席自由 シーバイン友の会2,500円
一般3,000円 学生(大学生以下)1,000円
※未就学児入場不可

仙台フィルハーモニー管弦楽団音楽事業提携プロジェクト
**なとりミュージックガーデン
大人のための音楽鑑賞教室**
10月15日(日) 小ホール14:00開演
構成・ナビゲーター:井野邊大輔(ヴィオラ) 他
チケット:全席自由 一般1,500円
※未就学児入場不可

仙台フィルハーモニー管弦楽団音楽事業提携プロジェクト
仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサート
11月23日(木・祝) 大ホール 14:00開演
指 揮:角田銅亮
管弦楽:仙台フィルハーモニー管弦楽団
チケット:全席指定 一般3,500円
学生(大学生以下)1,000円
※未就学児入場不可

シエナ・ウインド・オーケストラコンサート
12月14日(木) 19:00開演
指 揮:佐渡 裕
出 演:シエナ・ウインド・オーケストラ
キュウ・ウオン・ハン(バリトン)
チケット:全席指定 S席6,000円 A席5,000円
学生3,000円
※未就学児入場不可

新・名取寄席part5@文化会館
2月18日(日) 小ホール 14:00開演
チケット:シーバイン友の会3,000円 一般3,500円
学生(大学生以下)1,500円

※詳しくは、公演チラシや会館の公式サイトをご覧ください。情報は現時点のものです。日時・出演者等が都合により変更となる場合がございます。予めご了承ください。

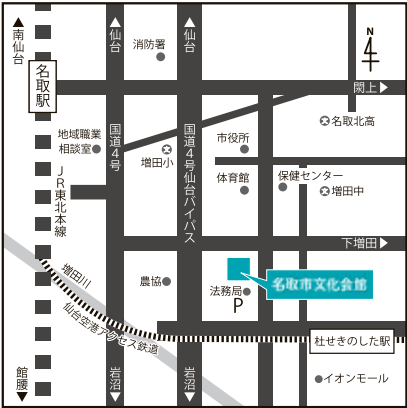
交通アクセス

- ・仙台空港アクセス鉄道「杜せきのした」駅より徒歩8分
- ・JR名取駅より徒歩17分
- ※タクシーをご利用の場合はJR名取駅が便利です。
- ※駐車場の収容台数には、限りがございます。公共交通機関をご利用になるか、できる限り乗り合わせてご来館くださいますよう、みなさまのご協力をお願いいたします。



公益財団法人名取市文化振興財団

〒981-1224 名取市増田字柳田520
TEL 022-384-8900 FAX 022-384-6684
ホームページ: <http://bunka.natori.or.jp/>
Twitter Facebook ▶ 名取市文化会館



文化の森

- 名取市文化会館 20周年に寄せて
- 音楽事業提携プロジェクト 活動の記録
- 「名取ノ老女」名取公演 主演・梅若玄祥さんからメッセージ
- 平成29年度公演スケジュール

ぶんかのもり
vol.48
2017.4

20 名取市文化会館 周年に寄せて

名取の文化振興の拠点として始まった名取市文化会館は、今年で開館から20年を迎えます。今回は、開館当初から長年にわたってご利用いただいている団体の皆さんに、文化会館での思い出やエピソードを伺いました。



UNCLE6

東日本大震災が発生した年の9月、別々のバンドで活動していた6人が、共通の音楽ジャンルを追うために現在のバンドを結成しました。2年前、文化会館で行われた音楽祭に出演し、大声援と拍手を頂いたのが強く印象に残っています。日ごろの練習の成果を発揮することができ、皆さんへの感謝の念が堪えませんでした。一口に20周年といっても、一つ一つ地道な努力の積み重ねですね。これまでの歩みに対し感謝いたします。私たちUNCLE6も平均年齢66歳です。いつまでバンド活動を続けられるかわかりませんが、これからもよろしくお願いいたします。



名取こどもミュージカル

こどもミュージカルの定期的な練習や毎年3月に行なっている定期公演に利用させていただいております。大ホールでの公演時には、音響、照明、舞台装置の工夫の仕方により演出上の効果が違ってきますが、大ホールは間口や奥行き、天井までの高さがあり、理想的な演出ができると専門家から聞いており、いつも我々は、恵まれていると感じています。3つのホールに加えて、練習室や会議室などの施設が整備されておりグレードの高さを感じます。20周年おめでとうございます。年数が経過しても施設の損傷が少なく、すばらしいです。これからもメンテナンスを十分行い、立派な施設の維持に努めてください。



自衛隊 東北方面音楽隊

仙台市以外で音楽隊を呼んでもらっての演奏会を開催するうえで、これほど長く続いているのは名取だけなので、隊員たちもこの時期になれば「名取での公演だな」というのがすっかり定着しています。これだけ長く続いているということで、お客さんとの距離がすごく近い演奏会になっていて、仲のいい親戚のおじさんが来たようなそういう関係をお客様との間に築けていることがとてもうれしいです。また、これからの20年も呼んでもらえるように、我々も頑張って参ります！



名取ピアノサークル ♪ ぴあるて♪

震災当時、小ホールでリハーサルをしていたのですが、舞台スタッフの方に助けていただきました。文化会館が避難所になっていた時、キーボードをお借りして演奏させていただいたのですが、胸が痛くありませんでした。再開した会館で閉鎖出身の音楽家の方と復興のコンサートをさせていただいたときは、涙が出るくらい嬉しかったです。つらい思い出ではありますが、震災の際に助け合いや心のつながりができたことが思い出深いです。震災など大変なことはありましたが、20周年を無事に迎えられることに心よりお祝い申し上げます。今年は文化会館でなにがあるのだろうと楽しみにしています。会館の雰囲気やどんどん良くなってきているので、これからも皆さんに愛される名取市文化会館であってほしいと思います。



宮城クロマティックハーモニー

この会館はとても音が素敵ですし、スタッフの方が親切なので、毎年行うコンサートではここを使わせていただいております。文化会館の中ホールをお借りして初めて発表会を行ったことがすごく思い出になっています。舞台の設定やタイムスケジュールなどに不慣れな私たちに会館のスタッフの方から色々アドバイスをいただいて今はとてもスムーズにコンサートを行うことができています。震災後に、被災されて文化会館に避難されていた方々の前でクロマティックのコーラスのグループで演奏したことも大切な思い出です。これからも30年40年50年とこの名取市文化会館を末永く生き生きと続けていっていただきたいなと思います。地元なのですぐ利用できるような良いところをずっと残していただきたいなと思います。



フラワーアレンジメント花かご

作品展をしたことが印象に残っています。普段、出来上がった作品をもって記念撮影をしています。やはり展示ギャラリーは壁も真っ白で天井も高いスポットライトもあるし、ガラスのケースもあってプリザーブドフラワーの作品はガラスケースに飾らせてもらったので、すごく作品が綺麗に映えて飾られて自己満足じゃないですが、皆さん喜んでらっしゃいました。また今年あたり、できたらと考えています。20年も経つ建物にしては綺麗ですね。自分が続けていける限りは、続けていきたいと思っているので、これからもよろしくお願いします。



絵本タイム

毎月1回、絵本の読み聞かせや工作、わらべうた遊びを行う「えほんタイム」を開催しています。毎回使用している希望の家は程よい広さで心地よくとても気に入っていつも利用しています。合唱コンクールが毎年開催されているからなのか、名取は「音楽の街」というイメージがあると言われたことがあります。文化会館から「音楽の街」が浸透していくとずっと楽しくなるでしょうね。



裕バレエアクト

年に1回11月の発表会は開館になってから毎年開催していて、ここが開館してからはずっとこちらで開催しています。初めての時は、市民みんなが心待ちにしていました。来年、裕バレエアクトとして25周年を迎えるので、少し大がかりな公演になります。生徒たちは名取を中心に岩沼、亶理、仙台から来ているので、名取が一番アクセスがよく、名取からプロのバレリーナを育てよう地域で頑張っていてやっています。今2名がバレエ団に行っていますが、もっと増やしていって名取からたくさんのバレリーナを育てていきたいです。



ベル・ヴァン仙台

震災が3月で、その年の4月でベル・ヴァン仙台がちょうど10周年ということで、自分たちにご褒美をあげようとコンサートを開催する予定でしたが、やはりそれは出来なくなり、翌年、名取市文化会館も体制が整ったという事を伺って、是非またここでコンサートを開催したいということで、また再開することができました。その時に全員で演奏したのが「家族になろうよ」という曲で、その曲を選んだのが、生徒さんが地震の時に、自分の家族は勿論、オカリナの仲間みんなのこと「もう一つの家族だからとても心配した」ということを言うてくれて、それでこの曲にしようということになったんです。本当に、あの震災翌年のコンサートというのは、やっとオカリナを楽しめる喜びがいっぱいになるような、思い出に残るコンサートでした。



名取交響吹奏楽団

20周年おめでとうございます。オープン以来、定期演奏会と名取プラスバンドコンサートを毎年文化会館で開催させていただいておりますが、過去にプラスバンドコンサートに学生として参加していたメンバーが、後に当団へ入団する、といったエピソードもいくつかあり、そういった意味では「縁」をつないでくれている場所でもあるのだな、と考えています。このようなすばらしいホールが地元にあることは、当団の活動においてはとても恵まれていると感じています。今後とも宜しくお願いいたします。



混声合唱団せせらぎ

昨年5月に8回目の定期演奏会を開催しました。演奏会をいつも聞きに来てくださる大勢の方々に感謝しております。いつも演奏終了後大急ぎで出口に行き皆さんをお送りします。その時にいただく「今年もハーモニーがとてもよかったよ!」という言葉で「また頑張らなくちゃ」と力が湧いてきます。演奏していた時の緊張は一瞬にして吹き飛び、その時の達成感が歌を続ける原動力になっているのかもしれない。文化会館の中ホールは450席で響きが良く、私たちのような団体が発表する会場として最適な環境。文化会館が市民の文化の核として、市民とともに名取市の元気を振り起こしていってほしいです。

皆さんに聞きました!!

名取市文化会館の好きなところ

- 音響がいいところ
- 周りの緑が多いところ
- 中庭の白樫の木
- ガラス張りですて光がたくさん入って明るい
- 綺麗で清潔感がある
- 開放感がある
- スタッフの皆さんが丁寧で親切!
- 駐車場が広い

名取市文化会館 × 仙台フィルハーモニー管弦楽団 音楽事業提携プロジェクト

Art for Kids@なとり 小学校アウトリーチ

仙台フィルの二人のコンサートマスターが名取市内の小学校4年生に向けたアウトリーチコンサートを行いました。ヴァイオリンやピアノの演奏を間近で聴いたり、実際に楽器に触れて音を出してみたりと、子ども達に音楽を身近に感じてもらう時間となりました。



Art for Kids@なとり わくわく楽しい音楽会

学校で出会った子ども達とホールで再会。「作曲家たちのドキドキ旅行記」と題して、世界各国の楽曲をまるで世界旅行をしているかのようなプログラムでお届けしました。客席を3つに分けてのリズム遊びもあり、子ども達も一緒に手拍子で東南アジアの「ケチャ」に挑戦するなど、会場が一体となって楽しい公演になりました。



なとりミュージックガーデン 仙台フィルメンバーが贈る 大人のための音楽鑑賞教室

2月の室内オーケストラコンサートに向けてのレクチャーコンサート。作曲家のエピソード、楽曲解説を挟みながら、演奏をお楽しみいただきました。小ホールの小さな空間で、演奏家とも近い距離で気軽にクラシック音楽を体感していただきました。



なとりミュージックガーデン 仙台フィルハーモニー管弦楽団 室内オーケストラコンサート

本プロジェクトメイン公演。下野竜也監督によるプログラムでお届けした室内オーケストラ。オーケストラを二分しての管楽、弦楽それぞれのセレナードや黛敏郎の10楽器のためのディヴェルティメントなどの楽曲が演奏され、仙台フィルの豊かな音色と名取市文化会館中ホールの響きをお楽しみいただきました。



平成28年度、名取市文化会館を拠点として始まった本プロジェクト。1年目の活動を振り返ります。